

平成19年度病害虫発生予察指導情報

(果樹全般・果樹カメムシ類 No. 1)

平成19年8月23日
鳥取県病害虫防除所

1 情報の内容

一部の地域で、予察灯におけるチャバネアオカメムシの誘殺数が急増している。今後、果樹園に飛来する恐れがあるため、定期的に果樹園などを観察し、飛来が確認された場合は防除を実施する。

2 情報の根拠

- (1) 8月中旬現在、県内3地点での予察灯におけるチャバネアオカメムシの誘殺数は平年並～やや少ないものの、北栄町での誘殺数が急増している(表1-1、図1)。一方、県内3地点での予察灯におけるクサギカメムシの誘殺数は平年並～少ないが、八頭町ではやや多い(表1-2)。
- (2) 集合フェロモントップにおけるチャバネアオカメムシの誘殺数は、全調査地点でやや少ない～少ない(表2)。
- (3) 8月21日現在、県予察ほ場(殺虫剤無散布、無袋果実、ゴールド二十世紀)のナシ園では、カメムシ類の飛来は確認していない。
- (4) 8月21日現在、園芸試験場のサンゴ樹(100果そう、2地点調査)にはチャバネアオカメムシの飛来はみられていない(参考:H18.8.21、2地点平均18.0頭/100果そう)。

表1-1 予察灯におけるチャバネアオカメムシ誘殺数(頭)

月・旬	八頭町		鳥取市河原町		湯梨浜町		北栄町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
5月計	0	275.7	9	64.7	0	3.4	0	94.7
6月計	20	259.7	79	90.2	3	7.1	5	54.2
7・上	34	246.0	10	107.5	1	6.4	16	69.4
・中	8	245.6	8	159.8	0	8.1	9	69.4
・下	4	258.9	11	180.9	4	9.6	1	78.9
8・上	13	204.3	20	168.4	6	12.9	41	75.6
・中	84	103.6	79	177.3	12	10.3	513	122.3
・下		89.3		185.0		5.5		97.9

表1-2 予察灯におけるクサギカメムシ誘殺数(頭)

月・旬	八頭町		鳥取市河原町		湯梨浜町		北栄町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
5月計	1	20.7	4	34.5	0	0.1	0	0.8
6月計	31	21.9	8	9.2	0	0.2	1	1.0
7・上	10	25.7	2	9.9	0	0.6	1	2.7
・中	3	58.6	0	40.9	0	1.5	0	24.1
・下	22	93.5	16	114.8	0	3.2	0	84.6
8・上	119	146.9	56	195.5	3	5.8	1	92.8
・中	120	85.1	23	276.8	2	2.6	12	52.6
・下		46.5		147.8		0.9		18.3

表2 集合フェロモントラップにおけるチャバネアオカメムシ誘殺数(頭)

月・旬	八頭町				北栄町	
	*		*		本年	平年***
	本年	平年**	本年	平年**		
5月計	84	61.1	14	34.3	52	63.5
6月計	71	95.0	75	184.7	42	48.0
7・上	32	173.3	56	299.2	17	27.3
・中	12	206.5	9	374.0	4	20.5
・下	2	201.0	2	269.4	2	19.0
8・上	2	142.4	0	120.7	4	26.5
・中	1	43.6	0	7.4	0	5.2
・下		23.6		2.7		3.3

*... はヒノキ林内、 は と果樹園との中間点の水田畦畔に設置

**... 平年値：平成11～18年、平成12～18年の平均値

***... 平年値：平成15～18年の平均値

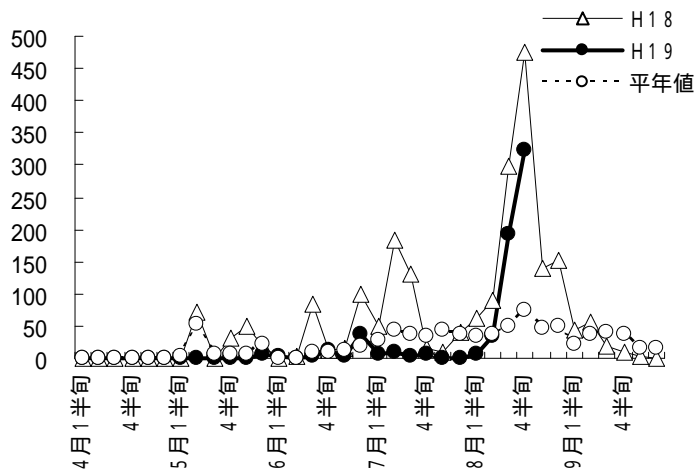


図1 予察灯におけるチャバネアオカメムシの半旬別誘殺消長(北栄町)

3 防除上注意すべき事項

- (1) 本年は8月中旬以降が第2世代成虫の発生時期と見込まれる。
- (2) 北栄町では、予察灯におけるチャバネアオカメムシの誘殺数が急増し、8月中旬には1日当たり平均約50頭が誘殺されている。しかし、ナシ園及びサング樹の実にカメムシ類の飛来が確認されていないこと、集合フェロモントラップの誘殺数は少ないこと、その他の地点の誘殺数は平年並以下であることから、現況では、広域には山林からの離脱(果樹園への飛来)は少ないものと推察される。
- (3) しかし、特に、県中部では発生密度が増加しているため、今後、山林で餌不足となった場合などは果樹園に飛来する恐れがある。そのため、定期的に果樹園やサング樹などを観察し、早期発見に努める必要がある。